

認知症になっても 安心して暮らせる町

～認知症に関する相談・支援体制を拡充します～

洞 湖町では、65 歳以上の高齢者 100 人に対し、13 人に認知症の可能性があるという結果が出ていて、国の推計値より高い割合となっています。認知症になっても安心して暮らせる町を目指して、洞湖町では今年度から地域包括支援センターの専門職を中心に、認知症に関する相談・支援体制を拡充しています。

認知症について困っていることや知りたいことなどがあれば、気軽にご相談ください。

■ 相談・支援の流れ ■



認知症かな？と思うが、診断を受けていない
認知症の診断を受けたが、介護サービスの利用をしていない
認知症の症状が強く、対応に困っている など

その他、認知症について
困っていることがある

地域包括支援センターへ相談（本人・家族・関係者など）

「認知症初期集中支援チーム」が支援

研修を受けた保健師・社会福祉士・認知症サポート医※1が連携して、以下の支援を行います。

- ・定期的な家庭訪問による状況確認、相談対応
- ・専門医療機関への受診の促しや調整
- ・必要な医療・介護サービスの検討
- ・認知症の症状に沿った対応や経過予測のアドバイス

「認知症地域支援推進員」が支援

包括支援センターにいる保健師などが以下の支援を行います。

- ・認知症に関する相談対応
- ・家族を支援するための対策の検討
- ・認知症ガイドブック※2の周知
- ・地域で支えるサポーターの育成
- ・支援を担当する事業所の連携

必要なサービスの調整・関係機関への引き継ぎを行い、地域での自立した生活をサポートします！

※1 認知症サポート医：認知症疾患の鑑別・治療を行っている専門医。洞湖町は、ミネルバ病院認知症疾患医療センター長の齋藤医師が担当します。

※2 認知症ガイドブックは、認知症に関する情報の他、状態に応じたサービスなどの流れを示したものです。役場・温泉支所・総合支所・健康福祉センターなどで配布しています。



自分でできる！

認知症～気づきのチェックリスト～



- ☐ 同じことを何回も言ったり聞いたりする
- ☐ 今切ったばかりなのに電話の相手の名前を忘れる
- ☐ しまい忘れ・置き忘れが増え、いつも探しものをしている
- ☐ よく知っている人の名前を忘れる
- ☐ ものの名前が出てこなくなった
- ☐ 簡単な計算の間違いが多くなる、いつも大きなお金で支払いをする
- ☐ 料理・片付け・運転などのミスや、蛇口・ガス栓の閉め忘れが多くなった
- ☐ 雑誌や新聞、テレビ番組の内容が理解できなくなった
- ☐ 薬の飲み忘れが多くなった

- ☐ 今日の日付・時間がわからない
- ☐ 慣れているところでも道に迷うことがある
- ☐ 約束の日時・場所を忘れたり間違えたりする
- ☐ ささいなことで怒りっぽくなった
- ☐ 自分の失敗を人のせいにし、以前よりも疑い深くなった
- ☐ 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ☐ 身だしなみに気をかけなくなった
- ☐ 一人で外出することが減った
- ☐ 気分が落ち込みやすくなった

認知症の診断をするものではありませんが、**5つ以上チェックがある場合、認知症の可能性あります。**
4つ以下でも、心配な人や、症状が目立つようになってきた人は、早めにかかりつけ医や包括支援センターに相談することを勧めます。

問合せ 健康福祉センターさわやか（☎ 76-4006）地域包括支援センター（☎ 76-4822）